

# NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安美紀 【発行日】2014.6.7(通巻第11号)  
【HP】<http://www12.plala.or.jp/asian-kids-care/> 【E-mail】[kids@zpost.plala.or.jp](mailto:kids@zpost.plala.or.jp) 【団体設立】2004.2.11  
【TEL】090-5912-4515 【FAX】089-985-0389 【郵便振替】口座番号:01600-5-13009 口座名義:アジア キッズ ケア  
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:アジアキッズケア

梅雨の季節となり、蒸し暑さもひとしおですが、皆様には御健勝にてご活躍のことと拝察いたします。

さて、アジアキッズケアは、今年 10 周年を迎えました。子ども支援活動をスタートした原点を大切に、支援者の皆様の御参加・御協力により、アジアやアフリカの子どもたちのサポートを発展させたいと願っています。今後も、一緒に活動する留学生や現地協力者と連携して、「ハンド to ハンド」の支援活動を行ってまいります。

2014.6.7

NPO法人 アジア キッズ ケア 代表 喜安 美紀

## 毎月行う荷造りボランティア活動 ※支援物資の送付実績 682 箱

この1年間において、支援物資(衣類、文具、学期、日用品等)を次のように発送いたしました。

- ・2013.6 マラウィ(6)
- ・2013.7 ガーナ、韓国(6)
- ・2013.8 マリ(6)
- ・2013.9 フィリピン(4)
- ・2013.10 ウガンダ(6)
- ・2013.11 フィリピン、インド(10)
- ・2013.12 マラウィ(4)
- ・2014.1 フィリピン、ケニア(5)
- ・2014.2 ガーナ(6)
- ・2014.3 インド(2)
- ・2014.4 マリ、インド(6)
- ・2014.5 マラウィ(4)

※支援物資の送付実績 682 箱、送料経費総額 4,076,865 円(2014.5 現在)、12 か国 18 か所に届けています。

### <支援物資のご提供のお願い>

子どもたちに送る支援物資として、夏物衣類(子ども～大人用:Tシャツ・ジーンズ・体操服等)、文房具(ノート類、鉛筆・ボールペン・シャーペン、消しゴム等)、楽器(ピアノカ等)、通学用バッグ、サッカーボール等がありましたらご提供をお願いします。 ※特に、衣類は洗濯して汚れやほころびのない物をお願いします。

### フィリピン被災者支援のための支援物資の送付

フィリピンは、2013年10月、台風や津波等により甚大な被害を受けました。11月に、34名のボランティアが集まり、フィリピンの留学生と海外派遣を希望する中学生も参加し、被災地に夏物衣料等を緊急に届けました。

この日は、日本製の学校用夏物体操服の上下約100セットを中心に箱詰めしました。日本製は、生地が丈夫で、何度洗濯しても型崩れせず、夏涼しく冬暖かい高品質のため、外国ではとても喜ばれます。サイズはSS～3Lまでの各種を揃え、被災地の皆さんの生活に役立つことを願いながら、まごころ込めて作業をしました。



さらに、1月にもフィリピン支援の荷造りを行い、フィリピンからの留学生ニナイさんやラレットさんからフィリピンの紹介やメッセージを聞くとともに、楽しく留学生と交流しながら、自分たちのできる国際支援と一緒に実践しました。この荷物は、現地協力者のエドワード氏と連携して、困っている方々に「ハンド to ハンド」で手渡されました。子どもたちの笑顔と安心が、世界中に広がるといいですね。



## 「アジアキッズケアにフィリピン被災者支援の感謝の手紙と写真が届きました!!」

そして、フィリピンから、アジアキッズケアより被災者に送付した支援物資のお礼の写真とメールが届きました。エドワード氏（一番左写真中央）と彼の友人を通して、フィリピンの困っている方々に配布していただきました。彼は、3年間家族で愛媛大学大学院に留学して私たちと一緒に支援活動を行い、現在は現地大学の教官です。彼らは、服等は周辺地域に配布するとともに、学用品は山村のさらに貧しい子供たちに手渡してくれました。

小さな横断幕には、「アジアキッズケアの皆さん 心からありがとう」の感謝の言葉が日本語・英語・現地語で書かれていました。現地で被災した多くの方々が喜んでくださったことをとても嬉しく思います。私たちの心は国境を越えてつながっています。すばらしい内外の仲間とともに行った支援活動の成果に心から感謝しますとともに、ご協力をいただきました皆様に日本とフィリピンの友好に役立てたことをご報告いたします。

## 12 番目の支援国ウガンダ・ワトト村の孤児支援

ウガンダからの留学生（バーナードさん、エドワードさん、ベッティさん）と連携して、ウガンダに初めて支援物資を届けることになりました。彼らは、ウガンダの子供をマラリアから救済するために愛媛大学大学院に派遣された医師及び研究員です。今回、特にウガンダの孤児救済のために、サポートを開始することになりました。

ウガンダには、内戦、エイズの流行、貧困によって親を失った子どもたちが 200 万人以上いると言われ、支援先はワトト村の孤児たちです。ワトト (WATOTO) とは、スワヒリ語で「子どもたち」という意味で、今年、ワトト村でケアを受けている子ども達の人数は、3,000 名以上になっています。



9 月に実施した荷造りボランティアでは、最初に留学生バーナードさんから、ウガンダの自然環境や人々の暮らしを紹介してもらい、次に支援先のワトト村の孤児たちの生活・支援状況について話を聞きました。

バーナードさんは、孤児たちの現状に無関心であってはならないこと、孤児たちの置かれた環境を理解するとともに、より良い人格形成を育むためには、愛情いっぱいの家庭環境でのケア (holistic care) が必要で、これをワトトは実践していると語りました。そして、ベビー・ワトトは、捨てられた赤ちゃん達のために設置され、一人でも多くの孤児達を救出するとともに、未亡人となった母親達が彼らの母となることを志願し、孤児たちを将来自立できる社会人として育てるために、一緒に生活する家、学校、診療所、教会などが建てられています。



## 「ウガンダの子どもたちから届いた最高のスマイル」

ウガンダの現地から、手紙と写真が届きました。ワトト村の孤児たちは、アジアキッズケアから送られた支援物資を受け取って喜びました。彼らは、両親がいない不幸な境遇ですが、笑顔で育っています。こうした子どもたちの笑顔は、私たちにとって最高の喜びであり、私たちの元気の素になっています。一人の孤児は、「贈られたセーターは、私の心と体を暖かくします。」と手紙に書いてありました。彼らは、「本当の豊かさとは？」を私たちに問いかけ、それがお金や物の豊かさだけでないことを私たちに教えてくれています。

**<毎月実施の荷造りボランティアにご参加をお願いします>** ※詳細は団体ホームページを御覧ください。

【実施日時】 毎月第3又は第4日曜日の14時～16時 【実施場所】 アジアキッズケア事務所

【連絡先】 E-mail : kids@zpost.plala.or.jp 電話 : 090-5912-4515 (担当 : 喜安)